学校番号	218

令和４年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「地学基礎　改訂版」　（啓林館）						
副教材等	「ビジュアルプラス地学基礎ノート」　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち，そのしくみについて考える態度をもつこと。
・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
・学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見いだし，探究する過程を通して，事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	地学的な事物・現象に関する観察，実習などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地学的な事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	授業に対する姿勢 授業プリント 確認テスト	授業での発問 確認テスト 定期考査	実験器具の取り扱い 実習プリント 授業プリント	実験レポート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	固体地球・地球の活動	地球の概観	○				a:地球の形や大きさを，日常生活と関連付けながら，意欲的に学ぼうとする。 b:地球内部に層構造があることを認識し，その成因についても理解している。 c:「近地地震の走時曲線」実習の過程や結果を的確に記録，整理している。 d:プレートの定義，その相対運動と地質現象との関係を理解している。	・授業に対する姿勢
		内部構造		○				
		プレートの運動				○		
		地震			○			
2学期	地球史・大気と海洋	火山活動			○		a:日常の天気などと関連付けながら，日本の天気に関する実習に意欲的に取り組んでいる。 b:地球史について，地学現象と生物進化を関連付けながら理解している。 c:「火山噴火の様式」実験の過程や結果を的確に記録，整理している。 d:熱平衡と大気海洋大循環の関係を理解している。	・授業での発問 ・実験器具の取り扱い ・実習レポート ・実験レポート ・確認テスト ・授業ノート ・定期考査
		地球史		○				
		エネルギー収支 大循環				○		
		日本の天気	○					
3学期	宇宙の構成	太陽	○				a:太陽について，日食などの現象と関連付けながら，意欲的に学ぼうとする。 b:銀河の大きさや分布について，実際のスケール観をもって理解している。 c:「ハザードマップ」実習の過程や結果を的確に記録，整理している。 d:宇宙の歴史について，物理的知識にもとづいて説明できる。	
		宇宙の誕生				○		
		銀河の分布		○				
		自然災害と社会			○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付

けている。